

横山幸次

区政報告
ニュース

472

2012年6月24日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。
「横山幸次」で検索して下さい。

「原発ゼロ・自然エネルギーのまち」表明を「表明の考えはない」(区の答弁)...

区長は原発問題など答弁に立たず！ 態度表明は最低限の責務では...？

本会議質問では、区として原発ゼロ、自然エネルギーのまちをめざすことを表明し、その基本姿勢の上に、エネルギー対策や放射能測定などの総合調整を行う部署の設置を本会議で求めました。しかし西川区政は「意見表明の考えはない」「担当部署設置は必要ない」と拒否。

財界や「原子カムラ」の求めに応じるかのように野田首相は、大飯原発再稼働を「政治決断」。瀬戸内寂聴さんは「野田首相は私の責任で」と言いました。... (中略) 軽々しい発言です。津波で街ごと流されてしまった地域は悲惨



あくまで環境基本計画で放射能対策は触れず

現在、荒川区環境基本計画の3年ごとのローリング、見直しを行っています。大震災と原発事故を受けて、抜本的な見直しが必要ははずです。現に、東京都は、環境審議会に基本問題の諮問を行い、昨年見直しをしています。

ところが、区は、小幅な修正、施策の部分修正にとどめ、環境基本計画に放射能の「ほ」の字も書き込もうとしないのでは、区の基本姿勢が問われます。そこで区の基本施策と見直し中の環境基本計画が、大震災と原発事故、放射能汚染による環境破壊に対応したのみに見直すように求めました。しかしあくまで区は、環境基本計画に放射能対策を記載することを拒否しました。

も、自国で起きた原発事故さえ教訓にできない政治家に未来は託せません。いちばん身近に住



民の命、財産を守る自治体として、未来を託す子どもたちへの責任が問われています。西川区長は、この質問の答弁にすら立とうとしませんでした。少なくとも認識くらいは明らかにするのが区長としての責務ではないでしょうか。

裏面 特別支援教育の課題など...

定例法律相談

7月2日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

梅雨の季節、町のあちこちに紫陽花が咲いています この花には様々な名前があるようです...

わが家の鉢植えの紫陽花にも小さな花が咲いています。区役所に行く途中の学校や住宅の植え込みなど意外に多くの紫陽花を見かけます。花の形状で紫陽花の種類が分かります。球状の花をつけるのが西洋紫陽花で、形から手鞠花とも呼ばれます。また額紫陽花(ガクアジサイ)は、日本原産のようです。私の郷里(山口県)では、幽霊花とも言います。所変わって種子島では幽霊草。その他、刺繡花、七変化などとも呼ばれます。いずれも姿や色の移ろいを言い表しているのでしょう。色々と花の呼び名を思い浮かべて歩くのもひと味違った味わいがあります。しかし花の色と違い、節操もなく公約を投げ出す政党・政治家の変わり身は、ゴメンです。横山幸次



上が額紫陽花、
右は西洋紫陽花
下は五峽小で
咲く紫陽花

特別支援学校は満杯で増設に次ぐ増設 区内に特別支援学校誘致も必要



共産党区議団は、質問に先立ち王子特別支援学校（上）と墨田特別支援学校を視察、調査しました



特別支援学校は、学区が決まっています。尾竹橋通りを境にして、王子第二特別支援学校（小学部）と墨田特別支援学校（小中高等学校）に別れます。小学部30名、中学部に15名が通っています。高等部は、普通学級や特別支援学級、特別支援学校からの進学で墨田特別支援学校に20名、王子特別支援学校（高等部のみ）に20名が在籍しています。長時間スクールバスに乗り、また電車を乗り継いで通学しています。全国でも東京都



カーテンで仕切られた教室

でも高等部の生徒は急増しています。墨田特別支援学校ではこの10年間で100名増え、増設につぐ増設です。王子特別支援学校でも、これまで190名台が今年221名です。教室は足りません。職員室もランチルームも満杯状態です。三つの学校に小中、高で荒川区から85名が通学しています。区内に特別支援学校を誘致する必要があります。うか。

特別支援学校は、学区が決まっています。尾竹橋通りを境にして、王子第二特別支援学校（小学部）と墨田特別支援学校（小中高等学校）に別れます。小学部30名、中学部に15名が通っています。高等部は、普通学級や特別支援学級、特別支援学校からの進学で墨田特別支援学校に20名、王子特別支援学校（高等部のみ）に20名が在籍しています。長時間スクールバスに乗り、また電車を乗り継いで通学しています。全国でも東京都



教室での給食



給食運搬用のワゴン置き場



大規模校の職員室の例

写真は国立特別支援教育総合研究所
平成21年度研究成果報告書より転載



大規模校のスクールバス

荒川区にも卒後の学びの場… 45年の歴史「さくら学級」



毎年、さくら教室の活動記録や受講生の作品を展示

荒川区では、特別支援特別学級・学校卒業後の生涯学習の場として「さくら教室」があります。1966年から45年間、利用者からもご家族からも大変喜ばれています。宿泊学習の再開の要望もあります。生涯学習

の場として事業の拡充を求めました。教育委員会は「受講生やボランティアの方々のご意見を聞きながら拡充に努めます」と答えました。

福祉作業所の「学びの場」づくりに支援を

荒川区の民間福祉作業所でも、作業だけでなく青年たちの成長を目指し、畑作りや調理実習、和太鼓など独自活動を取り組んでいる所があります。「学び支援」の独自予算を付け区内作業所での取組みを支援するとともに、事業や予算の拡充を求めました。



脱原発荒川宣伝デー 7月1日(日)

お昼まで区役所公園

リレートーク・ミニライブ・福島野菜販売など

13:30～サンパール荒川5階

医師・専門家・福島のみなさんが語ります。

短編映画上映

放射能測定室「にっこり館」(西日暮里)

のお話と測定

脱原発荒川千人アクションの会

3806-6308

東京の九条の会・大交流会



全体会
午前10時開始

音楽：制憲向上委員会

講演：渡辺 治さん (九条の会事務局長 一橋大学名誉教授)

「憲法を日本のチカラに！」

午後からは分協会・分科会があります。

場所：正則高校(港区芝公園3-1-36) 資料代1000円